

F Report

筑紫女学園報

No. 88

2016 February
2016年(平成28年)2月5日

特集
幼稚園

求められる幼児教育の姿を見つめながら、
さまざまなことへ精力的に取り組んでいます！

筑女幼稚園の「変わらぬ魅力」

その教育 しなやかで、ゆるぎない。
学校法人 筑紫女学園

<http://www.chikushi.ac.jp>

筑紫女学園

検索



ここに響くことば

12

「よろこび」上手であろう

皆

さんは、「気がつけばそれが当たり前」そのようなことを経験したことはありませんか？電車が時間通りなの当り前、きれいな水がいつでも飲めるのも当たり前、スーパーでも食品を買えるのも、家にエアコンがあるのも当たり前。何でもかんでも当たり前。気がつけば、便利なものが、それが当たり前と感じ、ひたすらそれを求める生活をしていませんか？かつては、エアコンがある家庭は珍しかった。食品が手に入らない時代があった。電車なんて走っていませんでした。世の中便利になりましたが、便利さが幸せの象徴と考えられているように思われなくなりません。本当の幸せは何か。それは一つ一つの物事を十分に味わいながら一瞬一瞬を大切に過ごすことです。味わうということとは、どんな小さなことでもかきかえのしないすばらしいものに変えてしまうものであり、そのた

めには、どんな小さなことでも一日の収穫として「よろこび」ことが肝要だと思えます。テレビでもよく目にします。赤ちゃんが初めて立ったとき、初めて寝返りをうったとき、初めて指を握ったとき、初めて笑ったとき。その時の親の「よろこび」ようといったら。小さな変化。小さなしぐさ。どんな小さなことにでも「よろこび」を見出すことができれば、私たちは人生を味わい、一瞬一瞬をかけがえのない大切なものとして過ごすことができるのです。世の中便利になりました。新しいものができてくる度に私たちは幸せを覚えます。しかし、すぐにそれが当たり前になり、幸せを失いつつあります。もう一度身の回りがあるすべてに目をむけ、どんな小さなことにでも「よろこび」を見出していきましよう。そして「よろこび」上手であることを心がけましよう。

【中学校・高等学校宗教部】

この内容は、中学校・高等学校のWebサイト「今月のことば」に掲載されています。「今月のことば」とは、毎月はじめ、中学校・高等学校の全校生徒に配布している「ここに響くことば」です。皆さまもぜひご一読ください。

▶アクセスはこちらから！

<http://www.chikushi.ac.jp/hsc/h/kotoba/2015.php>

Contents

CJ Report No.88
2016 February

Special Issue

P2 特集／幼稚園

求められる幼児教育の姿を見つめながら、さまざまなことへ精力的に取り組んでいます！

筑女幼稚園の「変わらぬ魅力」

対談 保護者の想いと幼児教育への情熱を重ねて…
「日々の自由な遊びを通して豊かな経験と先々への学びを」
・住田 浩子さん(筑女幼稚園 保護者会長) × 小野山 佳代(筑女幼稚園 教頭)

CJ People

P7 やるネ! 筑女生

・大学／肢体に障がいを持ちながら、2つの夢を追いかける大学生(桑野 楓夏さん／大学・人間科学部人間科学科人間関係専攻1年)
・高校／アジア派遣団の一員としてタイを訪問した高校生(原田 優季さん／高校2年)

P9 キャンパス通信

・聴覚障がいを持つ学生を支えるボランティアグループ「MSG」
・「ネパール大地震復興教育支援募金」ご協力の御礼とご報告

P10 がんばる!クラブ ～先生に贈るメッセージ～ ・中学校／バレーボール部

クラブ活動の成果 2015.8～12

P11 大学・短期大学部「就職の筑女」・住友生命保険相互会社 中国 梨良さんの巻

P12 中高OGが語る私の夢への歩き方「進学の筑女」・九州大学 文学部1年 森谷 真美さんの場合

P13 幼稚園Presents「子育ての極意」

・愛着関係の重要性について(幼稚園／青沼 典子特任教諭)
親子で読みたい!「ここに響く絵本」
・「おなべおなべにえたかな?」(幼稚園／保護者 山本 真由美さん)

CJ Topics

P14 CJ フォトピックス ～写真で見る筑女生の「今」～

CJ Information

P17 学園中期計画「筑女プラン2017」
進捗状況報告

P18 ・高校／「平成27年度 女子第27回 全国高等学校駅伝競走大会」に出場!
・追悼／大村 英昭 前学長の追悼行事を挙行

P19 **プレイバック筑紫女学園2015**
・筑紫女学園からのお知らせ

CJ Reportの読み方

各学校のマークについて

学校ごとに以下のマーク(色分け)を施しています。



上記以外の記事の色分けは任意で行っています。

表紙のこと

今回の表紙は11月10日に幼稚園で行われた「焼きいも」のひとコマ。園庭で約170個のさつまいもを焼き上げ、みんなで食べました。あちこちから園児たちの「おかわり!」の声が飛び交っていました。



「CJ Report (筑紫女学園報)」のバックナンバーはWebサイトで!

学園トップまたは、各学校サイト下部のリンクから、本誌のバックナンバーをご覧いただけます。





求められる幼児教育の姿を見つめながら、
さまざまなことへ精力的に取り組んでいます！

特集
幼稚園

筑女幼稚園の 「変わらぬ魅力」

幼児教育へのニーズが時代とともに移り変わっていく中、筑女幼稚園では長年にわたって「変わらぬ魅力」が支持され、今日に至っています。今回の特集では、その魅力を卒園者と保護者から寄せられたメッセージで紹介するとともに、教育現場を牽引する小野山佳代教頭と、今年度の保護者会会長として、深く園に関わる住田浩子さんの対談を通して明らかにします。


 スペシャル
メッセージ

卒園生&保護者が語ってくれました！

「ここが良かった！」筑女幼稚園

今回の特集記事のために、小学生から大学生まで6名の卒園者と3名の保護者の方々から、筑女幼稚園での思い出や感想を寄せていただきました。そこには、子どもにとって大切な時期を過ごした筑女幼稚園への熱い思いが込められていました。園児として、保護者として感じた筑女幼稚園の魅力とは、今にして抱く思いとは――。

卒園生編

先生もお友だちも優しくて大好き！
また遊びに行きます

お 友だちと毎日好きなだけ遊べて、すごく楽しかったです。お父さんと一緒に竹馬を作ったとき、先生がお父さんを「上手ですね！」と褒めてくれたのも嬉しかったです。先生もお友だちも優しくて、嫌だったことは一つもありません。朝から「けいすけくん、おはよう！」とたくさんの先生に挨拶してもらえて嬉しかったです。小学校の入学式の日、ランドセル姿を見てもらいに行きました。幼稚園の先生、大好きです。また遊びに行きます！



斉藤 圭佑さん
小学1年生
(2015年卒)

がんばるといろんな先生が褒めてくれて嬉しかったです

先 生と一緒にやった泥団子づくり、お母さんと一緒に作った竹馬、自然の中で思い切り遊べた「こーの森」、お泊り保育、みんな楽しかったです。先生にお手紙を書くと、いつもお返事をくれました。それは今でも私の宝物です。担任の先生じゃなくても、がんばったらたくさん褒めてくれて嬉しかったです。先生が卒園式の時に「小学生になってがんばってね」と言ってくれたので、今もがんばれています。これからも、ずっと元気でいてください。



石蔵 桜子さん
小学2年生
(2014年卒)

特別な遊びがいっぱい！
本を読む習慣もできました

幼 稚園で絵本が身近になったのがきっかけで、今も本を読むのが好きです。それから、幼稚園で体験した陶芸や裏山での遊びなどの中で、一番楽しかったのは竹馬披露会です。最初はダメだったけど本番で挑戦したら乗れたので、とても嬉しかったです。泥団子づくりや砂遊び、サッカーなど、一緒に遊んでくれた先生、ありがとうございます。今、第二人も筑女幼稚園に通っているので、これからも先生方に会える機会があったら嬉しいです。



寺崎 忠宗さん
小学6年生
(2010年卒)

優しさや厳しさに育まれて
今の自分があると思っています

運 動会で年長さんがやっていたソーラン節やリレーに憧れ、自分の代になった時にとっても嬉しかったことを覚えています。逆にショックだったのは、教室に戻る時間に遅れた時のこと。先生に目の前で入口を閉められ、時間を守ることの大切さを教えてもらいました。筑女幼稚園での友だちとの交流、自然とのふれあい、先生方の優しさは、今の自分を作っている基礎の一つだと思います。今後も、自然いっぱいの愛情あふれる幼稚園でいてください。



竹内 万結さん
中学3年生
(2007年卒)

先生方の姿が将来の夢になり、
再び筑女で学んでいます

幼 稚園時代は全部がキラキラした楽しい思い出ばかり。仏様のお話や1日の終わりの合掌からは命の大切さや感謝の気持ちを学びました。思い返すと、たくさんの自由な時間を与えてもらっていたのだと感じます。「次は何をして遊ぶか」「この子と仲良くなるには…」と、いつも頭をフル回転させていました。だから筑女が大好きで、中学から再び筑女生に。先生方のおかげで、将来、幼稚園の先生になるという「夢」に向かっています。



安田 遙さん
高校2年生
(2005年卒)

遊びをとおして
たくさんのことを学びました

他 の幼稚園と比べて、自由に遊べるところが筑女幼稚園の魅力だと思います。勉強の時間があるところも多いようですが、勉強した記憶は全くありません。その代わりに、先生に教えてもらったいろいろな紙飛行機の折り方や輪ゴムを付けた飛ばし方、外での遊び、キャンプなどは今でもしっかり覚えています。それと印象的だったのは、裏山など自然がいっぱいだったこと。その影響でしょう、大学生になった今もアウトドアを楽しんでいます。



東 祐太朗さん
大学2年生
(2002年卒)

娘が苦手だった自己表現や
自己主張を克服できる
学びと遊びの場でした

自 然にふれながら伸び伸びと遊ぶことができ、ベテランの補助の先生方もいらっしゃるから筑女幼稚園を選んだのですが、入園後は、先生方がいつも笑顔で子どもたちに接し、気持ちにきちんと向き合って話を聴いてくださる姿に安心して娘を預けることができました。

幼稚園生活には「響流(こーる)の森」での遊び、崖すべりやバケツ稲作りなど、家庭ではできない体験が多く、行事の準備段階で先生やお友達との話し合いを経験することにより、娘は苦手だった自己表現、自己主張を克服していったようです。運動会では、子どもたちみんなが普段よりキラキラしている気がして感動しました。そんな毎日の中で得た自信が、今の学校生活に繋がっています。私自身も先生方から、子どもを“その気にさせる方法”を学ぶとともに、子どもが興味を持って取り組んだ時は成果がしっかり出ることを知り、親として成長できたと思います。

振り返ると、登降園時に園へと続く坂道で、草花や虫などを見て季節を感じたり、空を見上げたりしながら娘と色々な話をするのは楽しい時間でした。これからも、親子が伸び伸びと成長できる幼稚園であってほしいと思います。



大城 祥さん

- 長女:2013年卒
- 長男:在園中(年長組)
- ※ご本人も卒園生

子どもたちに
「経験させることの大切さ」を
育てくださったと同時に
私自身も学ばせていただきました

筑 女幼稚園へ見学に訪れた時のこと。私は園庭を駆け回るイキイキとした子どもたちの姿に目を奪われました。驚いたのは、先生方も一緒に全力で楽しそうに遊んでいることです。そしてふと見ると、恥ずかしがり屋の娘が駆け出していました。娘に気づいた先生はすぐに手をとり在園児の輪の中へ。私は娘が知らない方と手を繋いだところを初めて見ました。それもとでも楽しそうに。幼い娘にも一瞬で伝わるものがあることを知り、「ここに娘を通わせたい!」と思った瞬間です。

筑女幼稚園では、子どもが自分で「やりたい!」と思うまで粘り強く待ち、悩んだり迷ったりした時は、まずじっくり話を聴き、途中で諦めずに自分の力で頑張ってみることを教えてくださり、子ども自身が納得するまで付き合っていただけ。こうした経験から我が家の三姉妹は自分で考え自分の言葉で伝える強さと、失敗や結果にとらわれずにチャレンジする勇気を学び、小学校に入ってから幼稚園での経験をバネに壁を乗り越えていきました。これぞ筑女っ子の逞しさ。そして、私自身も母として、子どもにとってどのような存在であるべきか、学ばせていただきました。



松本 美穂さん

- 長女:2009年卒
- 次女:2011年卒
- 三女:2013年卒

引っ込み思案だった息子が
自主性と積極性を身につけ
伸び伸びと育っています

子 どもを通わせて本当に良かったと思うのは、半強制的な指示がないため、自主性と積極性が育ったことです。引っ込み思案だったうちの子が、いつの間にか自分から「あれがしたい」「これをしたい」と言うようになり、自分たちで遊びを工夫するようになっていました。これは本当に驚きました。性格も明るくなったんです。今思えば先生方のご苦勞は多大なものだったことでしょう。けれども寛容で温かい目で見守ってくださったのだと思います。

また、私自身も父親参加のイベントや、「お父さんの会(らいおん組)」の活動を通して学ぶことができました。父親が育児に参加し、幼稚園のことをよく知っていれば、母親が相談しやすく、育児に対する責任を軽くできることに気づいたので。これは今後も節目節目で活かされる学びだと思います。父親同士も仲良くなれ、私も幼稚園を楽しむことができました。

これからも多くの子どもたちに自主性の大切さ、友達の大切さ、自然の中で遊ぶ楽しさやそこから学べることを、たくさん教えてあげてください。うちの子は二人とも伸び伸びと育っています。その下地や土壌となるものは、筑女幼稚園にあったと今も感じています。



松本 毅さん

- 次男:2013年卒
- 三男:2014年卒

Topics

2017年2月、筑女幼稚園の
園舎が生まれ変わります

1972(昭和47)年の開園以来、長きにわたって子どもたちが過ごしてきた園舎が、創設45周年を機に生まれ変わることとなりました。

新園舎は「響流(こーる)の森」を囲み、弧の形を描くような建物として建て替えられます(右図参照)。建物は3階建てとなり、10の教室をはじめ、遊戯室や図書室、厨房などが設置される他、3階部分にはプールも新設される予定です。

また、今回の新園舎建て替えに伴い、将来的には学年毎の定員数の見直しや、0~2歳児受け入れのための「事業所内保育所」開設準備など、時代のニーズに応じた保育の形をさらに追求していきます。

「響流(こーる)の森」との一体化を図り、自然との調和を意識した新園舎となります。





対談

住田 浩子 さん（筑女幼稚園 保護者会会長）

× 小野山 佳代（筑女幼稚園 教頭）

保護者の想いと幼児教育への情熱を重ねて…

日々の自由な遊びを通して 豊かな経験と先々への学びを



●小野山 佳代／幼児期を筑女幼稚園で過ごしたことから幼稚園教諭に。現在は教頭として充実の日々を送る。

●住田 浩子さん／年長組に長女が通園中で、現在小学3年生の長男も卒園者。平成27年度保護者会会長。

責任とルールを大切に 子どもたちへ自由を

小野山 保護者会の皆さんにいつもご協力いただき、ありがとうございます。会長というお役目は大変でしょうか？

住田 いえいえ、微力ながらサポートさせていただいているだけです。かつては息子がとてもお世話になりましたし、今は娘も。ささやかな恩返しです。先生方こそ大変でしょう。子どもたちを自由に思いっきり遊ばせるのは難しいことですね。

小野山 そうですね。自由は一歩間違えたら放任になってしまう。本当の自由は責任とルールが伴うもの。自己主張し合っつてぶつかることもありますが、「手を出したらダメよ」「こういうふう

筑女幼稚園では、保護者と教職員が緊密に連携し、ともに子どもたちを育てています。

そんな毎日の中で、お互いが抱く子どもたちや幼児教育への想いについて、改めて語っていただきました。

気持ちを伝えた方が良かったんじゃない？」というように、集団生活の約束事を遊びの中から感じとれるように話しています。叱るときは厳しんですよ。今伝えなければならぬことがあり、それは先々に繋がりますから。建学の精神の実践として掲げる「4つのお約束（※1）」も同じです。どれも当たり前のことですが、このさき成長していく中で思い返してくれることに意味があると思っています。

家庭と幼稚園で共に育む 自主性とチャレンジ精神

住田 今しかできないことがあるかもしれません。例えば決められた時間は椅子に座る、といった躰は幼稚園にお願いすることではなく、家庭の役割。逆に家庭でできないことを園が担ってくださいていると思っています。それ

にしても、どの先生方も子どもたち一人ひとりのことをよく把握していらつしやいますよね。どうしたら、そこまで連携できるんですか？

小野山 目の届かない場所が園内になつような人員を配置していますし、常に情報交換をしているからだと思います。それに、一緒に遊んでいると子どもたちのことがよく分かるんですよ。遊びを通して子どもたちを知り、信頼関係が築けていれば、困つた時に相談したり、本音をポロッと漏らしてくれたりもするんです。困つたり、気持ちがあ動いた時こそ学びの瞬間で、子どもたちが「やつてみよう！」という気持ちになつた時が私たちの引き時。ルールを敷き過ぎてはいけないと思つています。

住田 そういうお考えだからでしょうね、子どもをしつかり見ていただいている安心感があります。それに保



（写真上から）100年の森での「虫探し」にスタンプ遊び「泥だんご遊び」など、さまざまな遊びの中から、創造性や自律の心が育まれます。

護者のことまで気にかけていた。上の子のことで悩んでいた時も、「頑張りすぎですよ。大丈夫ですよ」との小野山先生の言葉に救われました。気持ちが悪くも、それが集団の中で活かされる、一人でしていた遊びもみんなと一緒に楽しむこと、遊べるようになること、遊べることを感じてほしいと思っています。

これからも変わらずより良い教育を目指して

小野山 保護者も子どもも人それぞれ。いろんな個性が集まるからこそ集団の力も、まずは一人ひとりの自主性を引き出すことが大切だと思っています。それには、やはり遊びが大事。「やりたいうこと」と「やらされること」では、意欲はもろろん、集中力や持続力も違いますから。

住田 子どもたち同士の話し合いも多くなりましたね。うちの子の話では、今年の運動会の前の日に「勝つための走る順番」について、子どもたちだけで話し合っていました。

小野山 たしかに、何か物事を決める際、子どもたちだけで話し合わせる機会を意識して設けています。その際、教員としては「全員が納得するまで」「できるだけ否定的な意見は言わない」「一人ひとりが発言しやすいように」導くことを心がけています。こうした経験を重ねてもらうことで、小学生になっても、周りの雰囲気にもまれず、きちんと意見を述べられるようになってもらえたら、と考えてのことです。

住田 ところで、「お父さんの会」(※2)の活動も活発になってきましたね。しかも自主的に「何かさせてください」という雰囲気とか。また、昨年からは図書室ボランティア(※3)も始まりまし



父親たちが構成されている「お父さんの会(らいおん組)」。幼稚園でのさまざまな行事などの際、お手伝いに参加していただいています。

小野山 幼稚園へのニーズが多様化し、習い事のように目に見える結果を求める方も増えていますが、私たちは筑女の建学の精神に則り、時代が変わっても残すべきものはその時々状況に合わせてながらもきちんと堅持していきたいと思っています。教育の根本を変えるつもりは全くありません。本日はありがとうございました。



筑女幼稚園では「絵本読み聞かせ」の他、図書室では、園児たちが自由に本に接することができます。

今回の対談を 読み解く Keywords

※1【4つのお約束】

親 鸞聖人が明らかにされた仏陀(釈尊)の教え、すなわち浄土真宗の教えに基づく人間教育を建学の精神とし、それを具体的にまとめた「自律」「和平」「感恩」を幼児教育の実践へと応用的に展開する際に園児が守る約束。「みほとけさまをおがみます」「いつもありがとうございます」「おはなしをよくききます」「みんななかよくいたします」の4つを唱和し、教諭は日々、その言葉に込められている意味を分かりやすく子どもたちに伝えている。

※2【お父さんの会(らいおん組)】

園 児の父親で構成する自由参加の会で、3年前にリィダーを設けた頃から活動が本格化。現在は30名前後が月に1回集まり「響流(こゝる)の森」への手作り遊具設置や園に続く坂道の清掃、花壇の整備など、園と相談しながら自主的に活動している。

※3【図書室ボランティア】

園 の蔵書や寄贈された絵本などを集めた図書室の係を保護者の有志が担当。朝夕の貸出および返却の対応を行っている。



やるネ! 筑女生

The Wonderful Behavior
of CJ-Students

勉強をはじめ、さまざまなことに積極的に取り組む筑女生の活躍ぶりを紹介するこのコーナー。今回は、障がいを持ちながら夢の実現に向けてがんばる大学生と、昨年8月、アジア派遣団の一員としてタイを訪れた高校生からのレポートをお送りします。

01 【大 学】筑女で学びながら、 今、2つの夢を追いかけています

桑野 楓夏さん(大学 人間科学部人間科学科人間関係専攻1年/筑波大学附属桐が丘特別支援学校(東京都)出身)

ポッチャのおかげで広がった 国内外の人々との交流

私 は中学2年の時にポッチャという競技に出会いました。この競技を始めたきっかけは、同世代で私と同じよう

な障がいを持った人たちが、ひとりのアスリートとして戦う姿をテレビで偶然見かけて、「私にもできるかもしれない」と思ったからです。ポッチャとは、ヨーロッパで生まれたパラリンピックの正式種目

目で、ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転が

したりしていかに近づけるかを競う競技です。この競技は障がいの程度に応じてB

C1からBC4までの4つのクラスに分かれています。競技はクラスごとに行われる個人戦と、BC1とBC

2の3名から構成されるチーム同士で行われる団体戦があります。私はBC1と

いうクラスに属しており、これまで個人戦では、毎年行われる日本選手権に5度出場し、2013年にはマレー

シアで開催されたアジアユースパラゲームズという世界大会に出場しました。また団体戦では千葉国体、東京国体およびアジアユースパ

ラゲームズに出場しました。この競技を通じて日本全国だけでなく、海外にも友人

ができて、たくさんの交流が生まれました。

私を受け入れてくれた 筑女で夢の実現に向けて 大学生活を満喫中

私 は、父の転勤で小学

校高学年から高校までを東京で過ごしました。進路を考える時期に、東京

では多くの障がいを持った方が、大学へ進学していく姿を目の当たりにしていたの

ですが、次の住まいとなる福岡の地ではなかなか受け入れ先がなく悩んでいました。筑女のオープンキャンパスに訪れてみたところ、大学の

雰囲気も良く、学ぶ上での環境も整っていると感じたことから、受験を決意しました。

現在は、人間科学部の社会福祉コースで私自身にも深く関わる福祉について学んでいます。将来的には特別支援学校教諭になることを目指しています。そうなるこ

とで、生徒たちの一番の理解者になれるでしょうし、ま

た障がいがあっても努力をすれば教諭になれるということと、生徒たちに自分自身の体験を通じて得た多くのことを伝えていけるのではないかと考えています。入学した当初は、東京から引越してきてすぐだったこともあり、知り合いもなく心細かったのですが、すぐに友人もでき、また先輩方にも助けられ楽しい大学生活を過ごしています。

今後の目標ですが、直近では来年の日本選手権で予選を突破することです。長期目標としては、東京パラリンピックに出場したいと思っています。また、大学では自分ができることをひとつでも多く見つけながら、様々なことに積極的に取り組み、特別支援学校教諭や社会福祉士の資格取得を目指します！



「第17回日本ポッチャ選手権大会(北海道)北海道」北海きたえーる予選会での桑野さん。



02 【高校】 アジア派遣団の一員としてタイを訪問。 これまでの価値観が変わるような経験に

原田 優季さん(高校2年/筑紫女学園中学校出身)

日本では想像できない
現実の姿に驚き

昨年の8月2日から9日まで、私は「福岡県私立高等学校生徒アジア派遣団」の一員として、タイのバンコクとアユタヤを訪問しました。

私は以前から東南アジア



エメラルド寺院のヤックの前で派遣団メンバーと(写真左が原田さん)。

には興味があり、訪問を強く望んでいました。私の想像していたタイというのは、人々が気ままに過ごしているというものだったので、現実とは違いました。私がホームステイした家庭はかなりの富裕層で、家を2つ持つほど。しかし、プラティープ財団が支援しているスラム街を訪

れた時に、それだけではなことに気づきました。そこに住む人々は、野良犬が歩き回り、ごみがそこら中に散らばっているような場所で生活をされていました。ボランティアをしている財団の方に「なぜスラム街ができるのですか?」と尋ねると、「第一に、タイには社会保障制

度がなく、貧しくても国からの支援が受けられないこと。第二に、ベトナムなど他の東南アジア諸国からタイに出稼ぎに来ている人々もいるけれど、生活資金がないうえ、不法滞在状態にあるため、少ないお金で生活できるスラム街に住み着くしかないこと。第三に、そこで生まれた子どもには戸籍がなく、十分なお金がないので教育を受けられず、結果的に低賃金の職しか得られないといった、貧困の連鎖が生じていること。そして、そうした連鎖を食い止めるためにプラティープ財団が尽力されていること」などを教えてもらいました。

私は、日本では想像できない現実には驚くと同時に、表側のきれいなタイしか知らなかったことを反省しました。今まで観光地を訪れてタイは良いところだと思っていたのですが、私たちがのんびりに観光している裏には、今日明日の生活がどうなる

か分からないような人たちがいたことを知りました。恵まれた生活をしている私たちであるからこそ、その現実を知らなくてはならないと思いますし、そう簡単に真実は見えるものではないことにも気づきました。

この先、何ができるのか 考えるきっかけに

こうした様子に心を揺さぶられ、価値観まで変わってしまうようなことを、今回のアジア派遣で経験しました。間違いなく、視野を広げることができたと感じています。私はこの事業に参加したことで、将来、日本と他の国をつなぐ仕事をすることを決意しました。それは表面的なところだけでなく、現実を知った上で日本と他の国をつなぎたいと思っています。

最後に、この事業に携わっておられるすべての人に感謝したいです。貴重な経験をた



くさんさせていただきました。この経験を元に私にできることは何かを考え、行動に移していきたいと思っています。



ホストスクールの生徒や先生たちとの絆が生まれ、将来、日本と他の国をつなぐ仕事に就きたいという思いが強まりました。



The Report of Dazaifu Campus

キャンパス通信

vol. 12

大学・短期大学部

大学・短期大学部でアクティブに活動する学生たちを紹介するこのコーナー。今回は聴覚障がいを持つ学生をサポート活動を行う学生グループからのレポートです。

聴覚障がいを持つ学生の学習サポート活動と おとして気づいた「支えること」の難しさ

MSG・濱口由子さん(大学・人間科学部人間科学科人間関係専攻3年/海星高等学校長崎県出身)

皆さんはMSGという組織をご存知でしょうか。MSGとは、ミューチュアルサポートグループ(相互支援団体)を略したもので、学生主体の組織です。今は、主に聴覚障がいを持つ学生の学習サポートをしています。音が聞こえない彼女たちは先生の声を聞き取ることができません。私たちは彼女たちの耳となり、ノートやパソコンを用いて先生の声を文字化し、授業の内容を見て分かるようにすることが主な活動です。この活動のことを「ノートテイク・パソコンテイク」、そしてテイクする学生を「学生テイカー」と呼んでいます。

それ以外に、私たちMSGは、学生テイカーたちに聴覚障がいについての知識・理解を深めてもらえるよう疑似体験の場を設けたり、テイ

クの質を高めるため、定期的に講習会を企画・開催しながら、学生テイカーと聴覚障がいを持つ学生をつなぐ活動に取り組んでいます。障がいを持つ学生を支援することの難しさについては、おそらく皆さんの想像以上のことだと思えます。私がMSGとして活動してきた中でも、聴覚障がいを持つ学生の思いが先生方に伝わらないことが何度もありました。「支援する」ということは決して簡単なことではありません。私たちは難しい壁に何度もぶつかりながらも、お互いの立場を理解しあえることを目指して活動を続けています。

生だけでなく、肢体が不自由な学生も入学しています。MSGとして、相互支援団体という立場から新たな取り組みも必要であると考えています。障がいの有無に関わらず、私たち人間はひとりでは生きていけません。「困っている人を支える」この当たり前の活動を、多くの方々に知っていただければ幸いです。私たちはこれからも、さらにこの活動がより良きものになるように努めていきたいと考えています。皆さんも、身近なことから始めてみませんか。

筑紫女学園大学には、聴覚障がいを持つ学

の質を高めるため、定期的に講習会を企画・開催しながら、学生テイカーと聴覚障がいを持つ学生をつなぐ活動に取り組んでいます。障がいの有無に関わらず、私たち人間はひとりでは生きていけません。「困っている人を支える」この当たり前の活動を、多くの方々に知っていただければ幸いです。私たちはこれからも、さらにこの活動がより良きものになるように努めていきたいと考えています。皆さんも、身近なことから始めてみませんか。

の質を高めるため、定期的に講習会を企画・開催しながら、学生テイカーと聴覚障がいを持つ学生をつなぐ活動に取り組んでいます。障がいの有無に関わらず、私たち人間はひとりでは生きていけません。「困っている人を支える」この当たり前の活動を、多くの方々に知っていただければ幸いです。私たちはこれからも、さらにこの活動がより良きものになるように努めていきたいと考えています。皆さんも、身近なことから始めてみませんか。



ノートテイクや筆談トークの練習を行う「MSG夏合宿」の様子。



MSGメンバーみんなが、より良い活動にすためがんばっています。

新入生オリエンテーションで聴覚障がいを持つ学生にノートテイクを行う濱口さん(写真前列左から2人目)。

2015.8~12

中学校

- 【第29回 福岡市地下鉄乗車マナーポスターコンクール】
・入賞 田代つかさ
- 【平成27年度 人権尊重作品】
・入選 白井 深雪、今橋 果音、小濱 千尋、荒川 優菜、宮崎 百花
- 【青少年読書感想文全国コンクール】
・特選 後藤 玲那 ※全国審査へ

卓球部

- 【第32回 福岡市中学校新人卓球大会(卓球競技大会)】
●12月6日・福岡市中央体育館
●団体・優勝

個人参加

- 【第55回 福岡市中学校総合体育大会スケート大会】
●12月12日・福岡県立総合プール特設スケートリンク
●フィギュア3級の部・優勝 小松 裕里子

お知らせ

本学「ネパール大地震復興教育支援プロジェクト」へのご支援御礼と引き続きのお願い

前号の本誌でもお伝えしておりました、本学の「ネパール大地震復興教育支援プロジェクト」につきまして、平成27年12月25日現在、1,976,643円の募金が集まりました。今後、本学学生および教職員が現地訪問して子どもたちに文房具を届け、現地の小学校建築に向けた視察および建築支援の際に、活用させていただく所存です。本学本プロジェクトへの多くの皆さまからのご理解とこれまでのご支援に対し、深く御礼を申し上げるとともに、今後引き続き、ご支援のほどをお願い申し上げます。

下記の口座にて募金を受け付けています。引き続きご支援のほどお願いいたします。

- 銀行名:福岡銀行 (金融機関コード0177)
- 支店名:太宰府支店(店番279)
- 普通預金:1255863
- 口座名:筑女ネパール募金

【女子第27回全国高等学校駅伝競走大会】

- 12月20日・京都府
・20位 1時間10分10秒
(花田・御崎・仙田・田部・大山)

硬式テニス部

【平成27年度 福岡県高等学校テニス新人大会】

- 11月14日~15日・宮崎県
●団体・3位

ハンドボール部

【平成27年度国民体育大会 第35回九州ブロック大会】

- 8月22日~23日・大分県
・優勝

【第70回 国民体育大会】

- 9月29日~30日・和歌山県
・5位 狩野 安佳里 ※福岡県選抜チームの一員として出場

水泳部

【平成27年度 福岡県高等学校新人選手権水泳競技大会】

- 9月5~6日・福岡市
 - 50m 自由形 第6位 桑原 さくら
 - 100m 自由形 第6位 桑原 さくら
 - 200m 自由形 第5位 得田 百乃
 - 400m 自由形 第4位 得田 百乃
 - 200m フリーリレー 第4位 (桑原/秋山/持田/得田)
 - 200m メドレーリレー 第4位 (桑原/持田/秋山/得田)
- ※全種目九州大会出場



九州大会を目指して日々練習しています!!

高等学校・中学校

がんばる! クラブ

The Excellent Club Activities

中学校/バレーボール部

vol. 28

~担当の先生に贈るメッセージ⑥~

クラブ活動でがんばる生徒から担当の先生にあてたメッセージを紹介するこのコーナー。今回は中学バレーボール部のキャプテンからメッセージが届きました。



試合中はベンチにいる部員も大声で応援しています!

新しい顧問・コーチの先生方と一緒に 中体連の九州大会優勝を目指して

中学バレーボール部キャプテン・平田瑞季さん(中学2年/柳川市立昭代第二小学校出身)

私

私たちは中学バレーボール部は、今年度から顧問の田中臣治先生、高田未来コーチという新しい先生方とともに、中体連の九州大会優勝を目指しています。

15名の部員のうち、小学生からバレーボールを続けているのは、わずか3名しかいません。一年生が入部したころは、ほとんどの部員がパスもできず、サーブも打てず、「どうなるのだろうか」という不安ばかりでしたが、今では2チームに分かれて紅白戦ができるようになりました。練習で、きついこと、大変なこともありませんが、みんなで協力して頑張っています。

私は、キャプテンとして、バレーボール部のみんなを引っ張っていきたくと思っています。チームを強くするために、一人ひとりが「弱さ」や「つらさ」から逃げない強い心を持ってほしいと考えています。そのために、自己中心的な言動をしない・相手の

私自身、高校バレー部のOGです! 筑女大でも頑張っています!!

バレーボール未経験者ですが、頑張ります!



田中臣治先生(顧問)



高田未来先生(コーチ)

クラブ活動の成果

高等学校

百人一首部

【第30回福岡県高等学校総合文化祭 小倉百人一首かるた部門】

- 9月27日・福岡女子高等学校
- 無段者の部・優勝 野崎 汐里/・第6位 清水 秋帆

放送部

【福岡県高文祭放送コンテスト 福岡県大会】

- 10月24日・中村学園大学
- アナウンス部門 第4位 安延 爽加/・第6位 永野 絵理奈
- 番組部門 ラジオ番組部門 第4位「尼が伝える命の歌」
- テレビ番組部門・優勝「誘い(いざない)」

※両部門とも九州大会出場

文芸部

【第30回福岡県高等学校総合文化祭 兼 第19回福岡県高等学校文芸コンクール】

- 10月25日・九州産業大学
- 文芸部詩部門 最優秀賞「いさらみ」57号 ※11年連続受賞
- 散文部門 優秀賞 山田 桃
- 小説部門 優秀賞 山田 ひかり
- 詩部門 優秀賞 梁木 みり

【第30回全国高等学校文芸コンクール】

- 12月12日・東京都
- 文芸部詩部門 優秀賞 一ツ橋文芸教育振興会賞
- 「いさらみ」57号(代表/吉田 和泉) ※3年連続同賞受賞
- 詩部門 優良賞「HOPE」 吉原 菜枝
- 小説部門 入選「escape」 吉田 和泉/入選「太く柔く」 梁木 みり
- 短歌部門 入選 山田 桃

宗教部

【第30回 福岡県高等学校総合文化祭 福岡県大会】

- 11月14日・筑紫野文化会館
- 日本音楽部門(雅楽)・優秀賞

箏曲部

【第30回 福岡県高等学校総合文化祭 福岡県大会】

- 11月14日・筑紫野市文化会館
- 日本音楽部門(箏曲)・優秀賞

美術部

【第30回 福岡県高等学校総合文化祭 美術・工芸部門福岡県大会】

- 絵画部門・特選 藤井 咲良

吹奏楽部

【第30回 福岡県高等学校総合文化祭 福岡県大会】

- 12月28日・アクロス福岡
- 器楽・管弦楽部門(木管三重奏)・優秀賞

書道部

【第30回 福岡県高等学校総合文化祭 書道部門福岡県揮毫大会】

- 10月17日・福岡工業大学
- 特選 古川 莉子
- 秀作 高橋 加奈美、平田 真里奈

英語部

【第63回青嵐杯 高校生英語スピーチコンテスト】

- 10月11日・北九州市立大学
- 3位 鎌田 未来乃

陸上部

【九州陸上競技選手権大会】

- 8月21日~23日・沖縄県
- 1600m 3位 上野・田代・青木・下川
- 400m 2位 田代・下川・青木・柳
- 200m 優勝 田代 純子
- 100mハードル 2位 青木 光穂

【全九州高等学校新人陸上競技大会】

- 10月9日~11日・長崎県立総合運動公園陸上競技場
- 800m 3位 御崎 舞
- 100mハードル 6位 青木 光穂
- 1500m 優勝 花田 咲絵
- 1600m 2位 西山・青木・上野・柳
- 3000m 2位 花田 咲絵
- トラックの部 優勝 総合優勝

【福岡県女子駅伝競走大会】

- 11月1日・福岡県嘉麻市
- 優勝 花田・御崎・仙田・旭・大山
- 区間賞(1区)花田 咲絵(2区)御崎 舞

【九州女子駅伝競走大会】

- 11月15日・宮崎県
- 第5位 花田・御崎・仙田・旭・大山
- 区間賞(2区)御崎 舞



【大学&短期大学部】
OGと上司に何う「筑女生のこと」

就職の筑女

The Success Story of Finding Work

vol. 32

本学卒業生をご採用いただいている企業へ何うこのコーナー。今回は、「お客さまの未来を強くする」ために独自の先進価値を掲げ、豊かで明るい長寿社会の実現に貢献する「住友生命保険相互会社」で活躍中の本学OG、中園梨良さんと上司の坂巻浩司さんにお話を伺いました。

住友生命保険相互会社
福岡すみれい営業部
中園 梨良さんの巻



文学部英語メディア学科を平成25年9月に卒業。「辛いのは、上司の親身な指導を受け、提案の相談にも乗っていただいたのに商品の良さをお客さまへ十分に伝えられず、成約にならなかった時です」。

自ら決意した休学で
見出した筑女での学び

中園さんの大学生活は、入学翌年の春から本格的に始動しました。1年次の後期を休学したからです。「筑女で学ぶ目的を見出せず、まずはやり残した高校の勉強を、と考えて予備校に通いました。そして筑女を見つめ直したら、興味があ

り、もっと伸ばしたいと思えるものが見つかったんです」
こうして学習意欲に火がついた中園さんは、在学中にMOS（エクセルやワードなどのスキルを証明できる資格）を一通り取得。1カ月間の短期留学で、明確にイエスカノーかが求められるシアトルでのホームステイも経験し、自ら考えて行動する環境の中で意志をきちんと伝えることの大切さを学んだと言います。また、「仏教の授業を通して感謝の想いを強くし、苦しさを糧に成長することで内面が磨かれていくというお話が心に響きました」とも「学べることは、すべて！」という気持ちで過ごした4年間で今につながっているようです。

悲しみに寄り添い、
喜びのお役に立つ商品を

「学生時代に頑張れたことがないと社会人になっても目標達成への意識が持てず、仕事に向かう姿勢も違ってくるのではないのでしょうか」。そう語る今、中園さんは、1年間の官公庁担当を経て、民間企業を訪問する毎日。「悲しさとともに貧しさが訪れないよう支える生命保険がメインの商品ですが、お子さまの学

資保険や仕事を勇退された後の年金など、嬉しい時に役立つ商品もたくさん用意しています。また、保険以外の相談を受けることもあり、「あなたに任せて良かった」と言っていたら、さら

に意欲が湧いてきます」
そうした中、「女性が長く働ける職場に」「大好きな人と接する仕事を」という気持ちで臨んだ企業説明会での「あ、こっだ」という直感

は、上司や仲間にも恵まれてさらに大きな確信に。「目標に向かつてみんなで頑張れる職場なんです。筑女と同じですね」と充実した日々を輝く笑顔を見せてくれました。

上司の方に
伺いました

お客さまの未来を強くし、
なくてはならない会社へ

学生時代の様々な経験は引出しを増やすチャンス。多様な価値観を持つ人の活躍に期待しています。

超

高齢社会に突入した日本では、核家族化の進展や共働き世帯の増加といった経済・社会の変化と相まって、保険の主流も介護・医療・年金へとシフトしてきました。弊社では日進月歩の医療技術・現場に合わせて、将来、より強く生きていくための商品を提供しています。また、ライフサイクルやライフステージの変化に応じた提案を重視し、対面販売を行う営業職員チャネルを軸として、インターネット、保険ショップ、銀行といった多様なチャネルも展開しています。

こうした中、他社との差別化の鍵となるのは、コンサルティングとセールスに他なりません。全国4カ所の「すみれい」は、そのために不可欠な女性指導者を3年間で養成し、先々は女性管理職として活躍できる人材として輩出するための組織。中園さんは目標を明確に持ち、その達成に向けて努力を惜しまず、粘り強く頑張ってくれています。同期に参考にしてほしい面が多く、将来は指導者として活躍してくれることでしょう。



営業部長 坂巻 浩司さん

「筑女出身者は、仕事もそれ以外でも中心になってくれるので頼もしいですね」と坂巻さん。

筑女出身の先輩達は既に一置かれる存在になっていきます。保険の営業は色々な観点から物事を捉え、様々な人と接する仕事であるため高い対人能力が求められるのですが、学生時代の豊富な経験が活かせるのではないのでしょうか。
筑女生の皆さん、女性人材の積極的登用を進める弊社の本丸「すみれい」は、ワークライフバランスも充実し、長く働くことのできる職場です。そして仕事における目標は、自分の夢を叶えるためのもの。そんな弊社にぜひ興味を持っていただきたいと思っています。

今回の登場企業

- 法人名: 住友生命保険相互会社
- 設立: 明治40年5月
- 主要業務: 生命保険業、付随業務及び法定他行
- 従業員数: 42,115名(職員11,109名、営業職員31,006名)
- 総資産: 27兆3,610億円
- 営業拠点数: 支社:73、支部:1,413、事業部(本社組織):12、営業支社(支社傘下組織):4
- 平成27年度新卒者採用実績:30名

※平成27年7月2日現在

中高OGが語る「私の夢への歩き方」

進学^の筑女

How To Realize My Dream

高校生活の中で目標を見つけ、次のステージへと巣立っていく筑女生たち。このコーナーでは、現在に繋がる筑女時代のターニングポイントや思い出、そして大学での学び、今後への想いなどをOGの皆さんに伺います。

もりやまみ ● 学校説明会の際に校内の雰囲気を感じ、先輩のすずめもあつたことから筑女中学校に入学。昨年春に現役で九州大学文学部へ「特進クラス」での6年間は、ほぼ同じメンバーだったので、一生の友達がたくさんできましたと語る。



九州大学文学部1年
森谷 真美さんの場合

愛情に裏打ちされた厳しさが、成長の糧に

恩師の言葉が胸に落ち
晴れた進路の悩み

中 学校では音楽部、高校では吹奏楽部で活動し、精神的に強くなったという森谷さん。「音楽部では、先生が親以上に叱ってくださいました。心から恩師と呼べる方に出会えたおかげで成長できたと感謝しています。また、チャレンジする友だちが多かったことも良い刺激に。『みんなで頑張ろう!』という雰囲気がとても好きでした」と筑女時代を振り返ります。

決めたのは高校3年生の夏でした。「かなり悩んだのですが、先生の『大学はスタートだから気を張らずにドンと構えなさい』という言葉が胸に落ちたんです」

夢はアメリカへ、
そして商社や貿易へ

うになりました。今は心理学に興味があり、希望が叶えば来年はワシントン大学に留学する予定です。商社や貿易に関する仕事に惹かれていますので、国際関係学が学べるのもワシントン大学の魅力。留学のために英語の勉強も頑張らないと」と瞳を輝かせます。

そ の言葉の通り、大学生になった森谷さんには新たな夢が芽生えています。「昨年、大学のプログラムでアメリカのシリコンバレーに行き、いろいろな企業を訪問するうちに、社会に即した学問を深めたいと思うよ

最後に後輩へのアドバイスをお願いと、「先のことばかり考えて不安になるより、目の前のことに全力投球を。そうすれば必ず道が拓けます」とのこと。森谷さんの道もまた、これからさらに大きく拓けそうです。

私の歩み

子ども時代

家族ごっこやディズニープリンセスごっこが大好きでした。ただし、なぜか家ではなく外で…。

小学時代

地域の子ども会でドッジボールに熱中!監督もちゃんとして、地域対抗の大会ではなかなか強いチームでした。先生に読書感想文を褒められて、作文好きになったのもこの頃です。

中学時代

筑女に入学し、音楽部へ。全国大会に出場しましたが、2年生の時はメンバーに選ばれなかった曲も…。悔しかったことを覚えています。このころ、勉強は「コツコツやりなさい」と堀先生に指導していただきました。

高校時代

吹奏楽部でバスクラリネットを担当。コンクールと紫苑祭に情熱を注ぎ、警察官と一緒に天神でマーチングを披露したことも。高校時代は英語が好きで英検2級も取得しました。

現在

自分の興味があるものを探りつつ、留学という夢を叶えるために勉強しています。その傍ら、公共の場に集まって前触れなく突如としてパフォーマンスを行う「フラッシュモブ」のサークルや、授業を企画・運営する団体でも活動しています。

もう少し聞かせてください!

森谷さんへの「一問一答」

Q 座右の銘は?

A なんとかなる!

試験やコンクールの前は不安になるので、「やるだけやってきたんだから、なんとかなる!」と思えるだけ努力します。その上でリラックスして臨めばうまくいくものです。

Q 愛読書は?

A 東野圭吾

「探偵ガリレオ」以来大好きです。推理小説としての面白さはもちろん、人間の深い部分が描かれているところが魅力です。

Q 尊敬する人は?

A 筑女の堀先生

あんなに大勢の生徒がいるのに、一人ひとりの悩みや学料の得手不得手などをちゃんと把握しておられ、アドバイスをくださいました。

Q 今ハマっていることは?

A 洋楽を聴くこと

これまではもっぱらJ-POPだったのですが、友だちの影響で洋楽を聴くようになりました。最近ではTaylor Swift(テイラー・スウィフト)がお気に入りです。





先生、おしえて！ 子育ての極意 vol.6

幼稚園

今回のテーマ 『愛着関係の重要性 について』 ～子どもが…親が…、イライラしやすい時の対処法は？～



筑女幼稚園での教諭経験は42年。現在は保育アドバイザーとして携わっています。

人間形成において大事な幼児期。思わぬことの連続で、ご心配の保護者もいらっしゃることでしよう。ここではそんな心配や不安を吹き飛ばし、“ほっと”していただけるようお話をお届けします。

幼児期にたっぷり愛情を受けると、何にでもチャレンジできる子に

近頃、子どもが些細なことでイライラするようになった気がします。どんな原因が考えられますか。

もしかしたら、親子でのんびり過ごす時間が足りていないのかもしれない。一緒に外で遊んだり、自然を感じたりしていらつしやるのでしょうか。怒りやすくなるのは、習い事などで毎日忙しく、息抜きができていない場合に見られがちな変化のひとつ。頻尿やチックなどの形で現れる子どももいます。

幼児期は子どもの教育において最も重要な時期であり、親子の愛着関係をしっかりと築くことが大切です。両親が仲良く、子どもに気配り・目配りが行き届き、何かあった時は同じ価値観で対応できていれば、先々はきっと大丈夫。逆にこの時期にたっぷり愛情を感じられていないと、思春期などにその穴を埋めるかのような問題が出てくるケースが多いのです。

お子さんには、「あなたが

子どもの目を見て向き合う時間を大切に

「甘やかす」を間違えないように。どんな子に育つてほしいかを夫婦で共有し、それをもとに対応しましょう。

下の子の世話で忙しく、上の子が手を焼かせる時、きつく当たってしまいがちです。

幼児期の子どもがいるお父さんは働き盛りの方が多く、子育ては任せきりというご家庭も少なくないようです。だから、お母さんは孤軍奮闘。つい怒ってしまうのも分かります。

そういう時は、短い時間でもかまわないので、抱きしめたり、膝に乗せたりしてあげてください。想いはちゃんと伝

わります。また、言葉でも「あなたはお父さんとお母さんの宝物」と言っておあげましょう。幼児期の子どもはまっすぐな心で「そうなんだ！」と素直に受け止めます。

ところで、こんなアドバイスをしている私も、子育てをしていた頃は怒りっぽくなってしまうこともしばしばでした。だから、ちゃんと向き合うことのできる唯一の時間、寝かしつける時はいつも反省会。1日の終わりは良い時間にしてようと努め、「忙しいからって、あなたは悪くないのに怒ってごめんね」とよく謝ったものです。すると子どもにとっても余裕のあるタイミングだからでしょう、「いいよ。私も悪かった」と言ってくれていました。そんな経験から、親も自分が悪いと思ったら、きちんと謝ることが大切だと思います。

最後に、お父さんへお願いです。肩車やギョコンバッタンなど、ぜひ体で遊んであげてください。そういうことは子どもの心に残るもの。お父さんにしかできない大切な役目です。

寄稿連載

親子で読みたい！
ここに響く絵本

6

物語の楽しさを知ってくれたキツカケになった一冊



山本 真由美さん
(幼稚園/見一人のお母さん)

「おなべおなべにえたかな？」は年少組の時、幼稚園から借りてきた本で、きつねのきつこちゃんが大活躍するシリーズの一冊です。それまで息子の選ぶものは乗り物の本が多かったのですが、この本をきっかけに物語の楽しさを知ったように思います。年長組になった今、何事にも勇敢に挑戦するきつこちゃんの大ファンです。その時から、親子で絵本を楽しむことは寝る前の日課となりました。絵本は声に出して読み聞かせをするので、言い回しの楽しさや工夫された文章に発見があります。読み方で反応も違い、子どもも感性に訴えかけていると思うと責任重大です。

慌ただしい一日の終わり、子どもに絵本を読んだ後、「おやすみ」と声をかけると、「ママのことが100%好きなんだよ。だけど薄暗い部屋に一人にされると、とっても怖くてその気持ちだんだん少なくなってくるんだよ」でも、ママも自分の時間が欲しいのよ、「僕が寝るまで部屋にいなかつちゃ。子どもが愛しくて笑ってしまいました。「ママ、分らないことは何でも僕に聞いてね」と言った子どもは、言葉はすつと心に残っています。



「おなべおなべにえたかな？」
●こいでやすこ 作/福音館書店 刊



CJサマーキャンプ
8月22日、23日の1泊2日で、高校生と大学生を対象としたサマーキャンプが行われました。参加した高校生たちは、2日間で見聞えるほどの成長ぶりを見せてくれました。



英語圏留学生壮行会

8月19日、英語圏の大学へ留学する学生の壮行会が行われました。ひとりひとり英語で決意表明をしてそれぞれの留学先へ旅立ちました。



レンタサイクルフェア

太宰府市、西鉄電車、学友会が企画したレンタサイクルフェアが9月1日からスタート。学友会はメディア取材を受けるなど大活躍しました。

写真で見る筑女生的「今」
CJ フォトピックス

大学・短期大学部



University Junior College



「基本理念と教育目標」発表会

9月15日、「基本理念と教育目標」の発表会を行いました。各学科、コースが抱える課題と現状を共有し、目標達成に必要なものを共有しました。



黒川温泉プロジェクト最終発表会

9月18日、黒川温泉にて「筑女「めざめ」プロジェクト」の発表会が行われました。現地研修で得られた発見や課題に対する改善案を発表しました。



9月卒業式

9月24日、9月で卒業する学生の卒業式・修了式が執り行われました。大学生8名、大学院生1名が卒業・修了を迎え笑顔で本学を巣立ちました。



第50回筑紫祭

10月24日、25日、筑紫祭が開催されました。本郷奏多さんのトークショーやMACOさんのライブも大いに盛り上がりました。



保護者と学生のための就職ガイダンス

11月1日、礼拝堂において、これから就職活動が始まる3年生とその保護者へ向けて就職ガイダンスが行われました。



餃子パーティー

11月6日、毎年恒例の餃子パーティーが開かれました。本場・中国出身の先生たちから指導を受け、皮から作った美味しい餃子ができました。



筑女フィル定期演奏会

12月23日、筑紫野市文化会館にて筑女フィルの定期演奏会を開きました。この演奏会のために一生懸命練習した成果が発揮されました。

Webサイト情報

- 大学・短期大学部「公式Facebookページ」
<http://www.facebook.com/ChikushiJogakuenUniversity>
- 大学・現代社会学部「公式Facebookページ」
<https://www.facebook.com/CJ.gensha>

【大学・短期大学部】

【大学・現代社会学部】



▲こちらからもアクセスできます



▲こちらからもアクセスできます

▶ 今後の予定 【 大学・短期大学部 】

日程	開催内容	開催場所
2月12日(金)	編入学試験 社会人特別入試 外国人留学生特別入試 海外帰国生特別入試	太宰府キャンパス
3月10日(木)	卒業式(短)	太宰府キャンパス
3月11日(金)	修了式(院) 卒業式(大)	太宰府キャンパス
3月13日(日)	一般入試(後期日程)	太宰府キャンパス
3月15日(火)	自己推薦入試	太宰府キャンパス

日程	開催内容	開催場所
4月 5日(火)	入学式	福岡国際会議場
4月11日(月)	前期開講	太宰府キャンパス
5月22日(日)	キャンパス説明会	太宰府キャンパス
7月17日(日)	オープンキャンパス	太宰府キャンパス
8月 7日(日)	オープンキャンパス	太宰府キャンパス



写真で見る筑女生的「今」

CJ フォトピックス

高等学校・中学校

High School
Junior High School

交流会
アフガニスタン研修員との
 9月4日、JICA青年研修事業の一環としてアフガニスタン研修員が本校を訪問され、交流会を行いました。理数科目の授業を視察し、校舎や茶室の見学、食堂にて生徒と一緒にランチを楽しみました。



中学校 体育祭

10月21日、九電記念体育館にて「星塵～スタート 今この瞬間が始まり～」をテーマに、体育祭を開催しました。



学校紹介・見学会

10月24日・11月14日、学校施設や行事の紹介、模擬授業や部活動見学など生徒会やスマイルCJの生徒がガイド役となって行いました。



中学校 秋季遠足

11月5日、中1は「海の中道海浜公園」、中2は「もーもーらんど油山牧場」、中3は「能古島」に、学年別に分かれて遠足へ行きました。



中学校 職業を知ろう講演会

11月7日、中学2年生を対象に、講堂にて「看護師」や「インテリアコーディネーター」など様々な分野で活躍されている方をお招きし、講演会を行いました。



「EUが学校へやってくる」講演会

11月10日、駐日欧州連合(EU)代表部と在日EU加盟国大使館主催で日本全国の高校を訪問し講演を行っている「EUが学校へやってくる」の出張授業が開催されました。



Chikujō de Night説明会

11月に中学校2回、高等学校3回、本校の受験をお考えの小学生、中学生とその保護者を対象に夜の説明会を行いました。



高等学校 修学旅行

12月7日～11日、高校2年生が5つのコース(東北・関東・関西、シンガポール、ハワイ、台湾)に分かれて修学旅行へ行きました。



中学校 弁論コーラスコンクール

12月17日、講堂にて弁論コーラスコンクールを開催し、各クラスの代表者による弁論、全クラスによる合唱を行いました。



高等学校 追夢(ツイム)講座

高校生を対象に一年間を通して開催。各分野でご活躍の大学の先生方による講義が行われました。進路目標達成のための大きな動機づけとなっています。

Webサイト情報

● 中学校ブログ「筑女って!!!」

<http://www.chikushi.ac.jp/hsc//blog/>

● 高等学校ブログ「CJチャンネル」

<http://www.chikushi.ac.jp/hsc/h/blog/>

【中学校】



▲こちらからもアクセスできます

【高等学校】



▲こちらからもアクセスできます

▶ 今後の予定 【 高等学校・中学校 】

日程	開催内容	開催場所
2月 5日(金)	高校 前期入試	警固キャンパス
2月13日(土)	高校 後期入試	警固キャンパス
3月 3日(木)	高校 卒業式	警固キャンパス
3月2日(水)～9日(水) 3月9日(木)～10日(木)	中学校 海外語学研修	オーストラリア
3月14日(月)・15日(火)	高校 クラスマッチ	警固キャンパス

日程	開催内容	開催場所
3月18日(金)	修了式・終業式	警固キャンパス
4月 8日(金)	入学式	警固キャンパス
4月中旬	中高 新入生 オリエンテーション	警固キャンパス
4月13日(水)～15日(金)	中学校 新入生研修	福岡県立社会教育 総合センター(篠栗)
5月上旬	紫苑祭	警固キャンパス



運動会
10月3日、晴天に恵まれた運動会!どの学年もパワー全開で、最後まで頑張りました。子どもたちもご家族も笑顔いっぱい!の1日になりました。



遊具作り

10月17日、らいおんぐみ(お父さんの会)有志による、響流の森での遊具作りが行われました。みんなの大好きな森に、また一つ楽しい場所が増えました。



年長 親子竹馬作り

10月31日、運動会のあとメキメキ体力のついた年長さんが、親子で竹馬作りに挑戦しました。自分の竹馬ができて大喜びの子どもたちでした!



年長 発表会

12月12日、園生活最後の発表会をしました。長いセリフも自分のものになっていた年長さんはさすが!保護者の皆さんも、子どもたちの成長に目を細めておられました。



秋の遠足

10月23日、バスに乗って小戸公園に出掛けました。大きな広場でおにごっこをしたり、お弁当を食べたり、楽しい1日になりました。



年中 親子工作

11月6日、遠足や響流の森で拾った秋の宝物(どんぐり、まつぼっくりなど)を使って、親子で作業しました。1つ1つ味がある素敵な作品ができていました。



成道会

12月15日、お釈迦様がお悟りを開かれた日をお祝いで、礼拝を行いました。大学の先生が写真などを使ってわかりやすく話してくださったので、みんな聞き入っていました。

写真で見る筑女生的「今」

CJ フォトピックス

幼稚園

Kindergarten



年少 親子泥だんご作り

10月15日、幼稚園みんなの大ブーム『光る泥だんご作り』に挑戦した年少さん親子。途中、崩れたりしながらも、夢中になって作りました。



年中 発表会

12月5日、たくさんの保護者を前に、大好きな絵本を題材にした劇をしました。舞台の上で話すのは、ちょっぴり緊張気味でしたが大きな拍手をもらってとてもうれしそうでした。



もちつき

12月19日、青空の下たくさんのお父さんたちにお手伝いしてもらい、もちつきを行いました。つきたてのおちはほかほか!柔らかくて、とてもおいしかったです。

Webサイト情報

●幼稚園ブログ「みてみて!げんきな筑女っ子」
<http://www.chikushi.ac.jp/knd/blog/>



◀こちらからもアクセスできます

▶今後の予定【幼稚園】

日程	開催内容	開催場所
2月 1日(月)	涅槃会	幼稚園
2月 6日(土)	年少 劇あそび会	幼稚園
2月23日(火)	年長 ミニコンサート	幼稚園
3月 7日(月)	お別れパーティー	幼稚園
3月16日(水)	卒園式	幼稚園

日程	開催内容	開催場所
3月17日(木)	終園式	幼稚園
4月 8日(金)	始園式	幼稚園
4月13日(水)	入園式	幼稚園
5月上旬	歓迎遠足	未定
5月上旬	オープンキャンパス	幼稚園



学園中長期計画「筑女プラン2017」

平成26年度の振り返りと新たな「筑女プラン」作成に向けた準備へ

**平成26年度は
全体で69.9%の達成**

進捗率は85.7%となり、過年度より順調に達成度の伸張を保持しています。

5カ年を1周期とした学園中長期計画「筑女プラン2017」も折り返しを過ぎて4年目を迎え、平成28年度で最終年となる「筑女プラン2017」の締めくくりと、新たな「筑女プラン」作成の準備段階に入りつつあります。

最重要課題である「教育の充実」に関連する項目、及び学生支援体制構築に向けた項目については概ね高い達成度を得られている状況です。平成26年度に新たに取組んだ「学習支援センター」の設置や、複数の企業とのPBL(課題解決型学習)による産学連携、近郊の自治体・高校との連携に向けた動きなどを加えて、今後もさらなる充実を図って行きます。

また、今年度も設置校ごとに、平成26年度の各プランに対しての達成度と進捗状況を検証、総括するとともに、平成28年度のプランに対してローリング(修正・見直し)を実施しました。

一方で、大学院の意義・目的・体制の検討については進捗率を上げることができず、今後の課題として取り組む必要があります。

平成26年度の学園全体における筑女プラン達成度は69.9%となり、前年度の70.2%から0.3%下げの結果となりました。

引き続き必要に応じてローリングを実施しながら、主体的に各プランの実行に努めてまいります。

大学から幼稚園まで 過年度を上回った 平均進捗率

【大学・短期大学部】
大学・短期大学部の平均

【中学校・高等学校】

平成26年度は、プランを23項目から20項目に整理して各プランの充実を目指した結果、中学校・高等学校の

平均進捗率が70.4%から77.0%に上昇しました。

女子教育に関しては女子教育プロジェクトを中心に、これに係る教育活動の系統的な位置づけ・実施計画の策定を急ぐと共に、管理運営面に関しても、危機管理体制の整備及び校務分掌間の連携強化について引き続き検討を進めます。

今後は機動的なマネジメントサイクルの意識を根付かせ、随時各教育活動を検証しながら改革の視点を持って、教育の充実と広報を図ってまいります。

【附属幼稚園】

平成26年度は全体的な内容の見直しを行い、プランを19項目から15項目に整理統合しました。また、各プランの実施に当たっては、できるだけ目標の数値化やスケジュール化など客観的な評価ができるようにプランを視覚化、具体化し、実施に努めました。その結果、附属幼稚園の全体的進捗率が61.1%から84.0%と飛躍的

な達成度を得ることができました。

園児を育成するための教職員員の資質向上については、宗門関係等の各種研修会へ積極的に参加するとともに、学期末に自己評価を取り入れることで指導のあり方を見直し、次学期の指導の改善に努めています。

【法人本部署事務局】

法人本部署事務局の平均進捗率は55.3%となり、前年度と比較して約4%低下しました。「筑女プラン2017

7」の最終年度である平成28年度に向けて、巻き返しが必要な状況にあります。

「宗教教育」「女子教育」「国際交流」「社会貢献」の各項目については、各設置校の連携を円滑にする役割に主眼を置いて計画・実行を進めていますが、具体的な成果が充分でないことから、計画の着実な実行に主眼を置いて今後取り組みを進めてまいります。

これまで取り組みが遅れていた財務シミュレーション等の課題については、一定程

度の成果を得ることができましたが、本学園の財務状況への根本的な対応については、さらなる取り組みが必要な状況にあります。

「筑女プラン2017」の最終年度である平成28年度に向けて、各プランの達成に必要なモノを見極めるとともに、筑紫女学園を理想の学び舎とすべく、平成29年度より始まる新たな「筑女プラン」へ向けた中長期計画の考案と課題の洗い出しを進めてまいります。

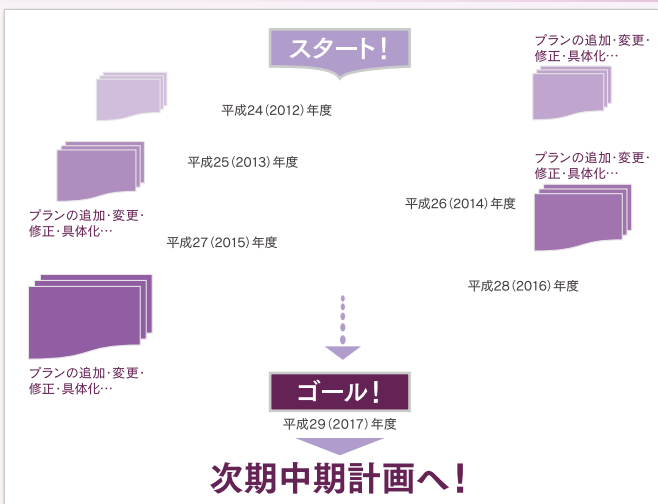
進捗判断の基準と達成度内訳

達成度	評価指標	昨年度(平成26年度)の達成度内訳
100%	予定していた計画の全てが実施され、成果指標に基づいた検証結果を踏まえて、次年度の計画に着手できる状態。	39施策
80%	予定していた計画がほぼ完了し、成果指標に基づいた検証を実施。	36施策
60%	予定していた計画の半分以上が完了し、成果指標に基づいた検証を実施。	14施策
40%	議論・打ち合わせ等の行動に着手し、年度内に予定していた計画の40%程度が完了。	11施策
20%	議論・打ち合わせ等の行動には着手したが、年度内に予定していた計画の20%程度しか完了できていない。	11施策
0%	議論・打ち合わせ等の行動が全く行われていない。	0施策

平均達成度 69.9%

合計 111施策

「筑女プラン2017」の進行イメージ



次期中期計画へ!

新体制となった高校陸上部の8カ月を振り返って

高校陸上部監督・長尾 育子

監督就任にあたり 3つの目標を掲げて

平成27年4月より指導体制が一新されて私が監督となり、河村総監督、高倉先生と共に日々全力で指導にあたっています。母校での監督の話をいただき、はじめは驚きましたが、いつかは母校で指導したいという夢

があり、大変光栄に思いました。しかし、そのぶん結果を出さなければならぬというプレッシャーも感じました。悩んだ末に出した結論は、母校に恩返しをしよう！監督としてやっていくことを決心し、生徒たちと共に目指す方向を示しました。それが「3つの目標」です。

1つ目は「インターハイに2名以上出場」。2つ目は「全員自己ベスト更新」。そして3つ目は「全国高校駅伝の県予選で3位以内に入り九州大会へいくこと」。この目標達成に向けしっかりと頑張ってきました。結果、1つ目の目標はインターハイの前の北部九州予選までしか進めませんでした。2つ目の目標は部員10名中9名が達成しました。

県大会での「奇跡の勝利」。 2年ぶりに臨んだ 全国高等学校駅伝競走大会

そして一番大事な駅伝。福岡県大会では、1区から他校をリードし2区でさらに広げ、3区、4区、5区が耐え抜き、9秒差での『奇跡の勝利』と言える優勝でした。この優勝で改めて筑紫女学園の伝統の力を感じました。伝統の力には、OGや生徒、後援会、保護者の方々その他大勢の方々の想いや願いも込められていたよう

に思います。

そんな県予選から約1ヵ月半後に開催された全国高校駅伝。今年は47都道府県代表に加え地区代表も加わり59チームが参加となりました。1区、2区では良い流れを作れたものの、3区以降順位を落とし、1時間10分10秒/20位(過去最低順位)でのゴールとなりました。今のチームのまだ弱いところではありますが、県大会の段階で今年の最大の目標を達成してしまつたため、その先で勝負できる力が残っていませんでした。たくさんの方にわざわざ京都まで応援にきていただいたのに、この結果で本当に申し訳なく思います。この思いを来年度に活かし、来年度は全国大会に出場するだけでなく、しっかりと戦えるようチームを作っていきたいと思います。

最後になりましたが、いつも私たちを支えてくださったすべての皆様から感謝し、お礼申し上げます。



▲笠理事長、小柳校長をはじめ、360名を超える大応援団が競技場や沿道で応援。小川福岡県知事も駆けつけてくださいました。

▶1区・花田咲絵選手(セツケン40番)は、区間7位と健闘。

追悼 大村英昭前学長の追悼行事を挙



去る平成27年9月21日にお浄土にご往生なさいました。大村英昭前学長の追悼行事が挙行されました。

◆ ◆ ◆
平成27年11月10日、全学礼拝・報恩講法要と共に、多くの学生・教職員が参列する中、「追悼法要」がお勤めされました。

大村前学長は大阪大学・関西学院大学・相愛大学等における教育研究に多大なる貢献を残されるとともに、関西社会学会会長始め多くの学会等において重責を果たされました。関西地区と深くご縁で結ばれておられたことから、本学園と同じく龍谷総合学園宗門校であります、学校法人相愛学園本町学舎講堂において、平成27年11月30日、「追悼の会」が挙行されました。ここに謹んで、ご報告申し上げます。 合掌



11月10日には本学礼拝堂で追悼法要(写真上)が11月30日には相愛大学(大阪本町キャンパス)の講堂にて「追悼の会」が挙行されました。




プレイバック「筑紫女学園2015」


～本学園の“この1年”を振り返りました～

本学園の2015年1月から12月におけるトピックスをピックアップ。振り返れば、この1年も新たな試みや活躍した人々などが続々と登場しました。

1月

- 1月11日(高) 思い出の詰まった母校での成人式 
- 1月29日(幼) あつあつホクホクのおでんパーティー

2月

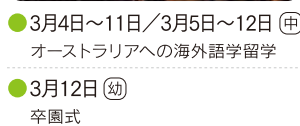
- 2月17日(幼) みんなで一緒に劇あそび会
- 2月21日(高) 玉露のうまい淹れ方コンテスト
- 2月24日～25日(大短) 株式会社スターフライヤー、アイ・ケイ株式会社との産学連携 




- 2月28日(高) ひなまつり茶会

3月

- 3月3日(高) 卒業式 
- 3月4日～11日/3月5日～12日(中) オーストラリアへの海外語学留学
- 3月12日(幼) 卒園式



- 3月12日～13日(大短) 卒業式・修了式 

- 3月17日(中) 修了式

4月

- 4月6日(大短) 入学式
- 4月9日～10日(大短) 新入生歓迎!サークルフェスタ
- 4月13日(幼) わくわくドキドキの入園式 
- 4月24日(幼) 一生懸命揺った たけのご振り
- 4月28日(幼) よもぎだんごパーティー



5月

- 5月1日(幼) みんなで歩こう 歓迎遠足
- 5月2日(大短) 53社が集まった合同企業説明会
- 5月22日～23日(高)(中) 盛大に盛り上がった紫苑祭 
- 5月23日(幼) (6月13日にも開催) お父さんが主役 お父さんの会


6月

- 6月10日(大短) 学生チャレンジプロジェクト選考会
- 6月19日(大短) 県人会主催のソフトバンクホークス戦観戦
- 6月20日(大短) 後援会総会・保護者懇談会
- 6月21日(大短) 紫友会総会

7月

- 7月1日(中) クラスで団結したクラスマッチ
- 7月1日(高) 本気で競いあった体育祭 
- 7月6日～8日(幼) おいしくできるかな 味噌作り
- 7月11日(短)(幼) 楽しく学んだ短期大学部音楽劇鑑賞 
- 7月29日～31日/8月1日～3日(中) 語学のレベルアップ!サマー語学研修 


8月

- 8月10日(大短) 学校の友だちとむかえる浴衣での夏の成人式 
- 8月22日(幼) 夏の思い出 夏まつり

9月

- 9月5日(幼) 涼しくなれる そうめん流し
- 9月24日(大短) 9月卒業式・修了式

10月

- 10月3日(幼) ちびっ子たちの運動会
- 10月21日(中) 健闘を称えあった体育祭
- 10月23日(幼) みんなでゴール 秋の遠足 
- 10月31日(幼) 親子で一緒に竹馬づくり

11月

- 11月10日(大短) 全学礼拝(報恩講)

12月

- 12月7日～11日(高) 最高の思い出ができた修学旅行
- 12月19日(幼) つきたてを食べよう お餅つき
- 12月20日(高) 女子第27回全国高等学校駅伝競走大会出場

【凡例】(大)=大学 (短)=短期大学部 (高)=高校 (中)=中学 (幼)=幼稚園

※本誌「CJ Report」掲載記事以外の情報は、学園Webサイトより(<http://www.chikushi.ac.jp>)

筑紫女学園からのお知らせ

人事

● 就任
大学・短期大学部 学長
若原 道昭
(平成28年1月1日付)

● 教育職員
大学・短期大学部 学長
上山 大峻
(平成28年1月1日付)



【主な学歴】
昭和32年3月 龍谷大学文学部仏教学科卒業
昭和37年3月 龍谷大学大学院文学研究科 博士課程 仏教学仏教史専攻 単位取得満期退学

昭和40年3月 本願寺派宗学院卒業

【主な職歴】
龍谷大学文学部教授
龍谷大学国際文化学部教授
龍谷大学宗教部長
龍谷大学・龍谷短期大学部学長
浄土真宗教学伝道研究センター所長
学校法人 筑紫女学園顧問
学校法人 龍谷大学理事 など

● 採用
大学 ● 教育職員
(現代社会学部) 講師
村上 佳世
(平成27年9月1日付)

● 任命
大学・短期大学部 学長代行
若原 道昭
(平成27年10月3日付)

● 任を解く
大学・短期大学部 学長代行
若原 道昭
(平成27年12月31日付)

● 退職
大学・短期大学部 学長
大村 英昭
(平成27年9月21日付)

● 理事・評議員会
理事・評議員
上山 大峻(大学短期大学部学長)
(平成28年1月1日付)

● 寄付金
筑紫女学園大学後援会 様
金額 一、八五〇、〇〇〇円
(新入生オリエンテーション補助として)

● 寄付(順不同)
左記のとおり、寄付をいただきました。
誌上、御礼とご報告をいたします。

● 寄付金
金額 一、〇〇〇、〇〇〇円
(教育研究費の補助として)

● 寄付金
金額 五、〇〇〇、〇〇〇円
(スクールバス運営補助として)

● 寄付金
金額 一、五〇〇、〇〇〇円
(CJコモンズへ学習支援センター用プロジェクト・タリオン購入費として)

● 寄付金
金額 三〇〇、〇〇〇円
(香典返し)

● 寄付金
金額 一〇〇、〇〇〇円
(香典返し)

● 寄付金
金額 一〇〇、〇〇〇円
(香典返し)

● 寄付金
金額 一〇〇、〇〇〇円
(香典返し)

● 寄付金
金額 一〇〇、〇〇〇円
(香典返し)

● 寄付金
金額 一〇〇、〇〇〇円
(香典返し)

● 寄付金
金額 一〇〇、〇〇〇円
(香典返し)



VOO(揮発性有機化合物)の発生を抑制する植物油インナーベントリオン(Vegetable Oil Inn)を採用しています